

可茂消防事務組合のあゆみ

昭和29年 4月	美濃加茂市消防本部、消防署設置
昭和40年 4月	可児町消防本部、消防署設置
昭和45年 4月	美濃加茂市、坂祝町、富加村、川辺町、八百津町、可児町、御嵩町、兼山町の1市7町村をもって可茂消防事務組合を設立 美濃加茂市消防署を中消防署、可児町消防署を南消防署と改称し、業務を開始 管理者 岸 東八郎氏（美濃加茂市長） 副管理者 林 桂氏（可児町長） 〃 飯田 藤行氏（八百津町長） 消防長職務代理者 山田 丈一 就任 消防職員55名 消防ポンプ自動車3台、水槽付消防ポンプ自動車2台、救急自動車2台、その他2台
5月	初代消防長 松田 宮吉 就任
8月	美濃加茂市から日本損害保険協会より寄贈のあった消防ポンプ自動車「火災保険号」の譲渡を受け、中消防署に配備
11月	日本赤十字社可児支部より救急車の寄贈を受け、南消防署に配備 南消防署に消防ポンプ自動車を配備
昭和46年 2月	中消防署、南消防署に広報車を配備
3月	中消防署に化学消防自動車を配備
4月	消防職員87名 富加、川辺、八百津、御嵩各出張所竣工開所 各出張所に職員8名、水槽付消防ポンプ自動車（小型動力ポンプ積載）1台、単車（50cc）1台を配備 本部に基地局を設置、全車両に長短波10Wの移動局を積載、中消防署・南消防署に携帯無線機各2基を配備
11月	日本赤十字社可児支部より寄贈を受け南消防署に配備した救急自動車を、御嵩出張所に配備（職員2名増員）
昭和47年 1月	本部に警防課を新設
3月	各出張所に長短波携帯無線機1基を配備
4月	消防職員94名
昭和48年 1月	川辺町から日本赤十字社川辺分区より寄贈のあった救急車の譲渡を受け、川辺出張所に配備（職員2名増員）
3月	多治見市と相互応援協定を締結
4月	本部庶務課を総務課に改称 消防職員97名
9月	岐阜県共済農業協同組合連合会より救急自動車の寄贈を受け、中消防署に配備
10月	中消防署に配備してあった救急自動車を八百津出張所に配備（職員2名増員）

昭和49年 4月	本部警防課を予防課、消防課の2課に改組 消防職員96名
7月	構成の富加村が富加町となり、1市7町となる
9月	犬山市と相互応援協定を締結
10月	中消防署に消防ポンプ自動車を配備
11月	特別消防隊結成 隊員13名
昭和50年 3月	副管理者 飯田 藤行 氏 の後任に 荒井 正義 氏 (八百津町長) 選任
4月	消防職員100名
昭和51年 3月	管内クレーン保有者と応援協定を締結
4月	消防職員105名 可児ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け、南消防署に配備 日本自動車工業会より救急自動車の寄贈を受け、南消防署に配備
8月	瑞浪市と相互応援協定を締結
12月	南消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配備
昭和52年 4月	消防職員109名
10月	管理者 岸 東八郎 氏 の後任に 高橋 三郎 氏 (美濃加茂市長) 選任
12月	日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、富加出張所に配備
昭和53年 3月	初代消防長 松田 宮吉 退職
4月	二代目消防長 渡辺 休一 就任 消防職員115名 本部に広報車を配備
10月	日本損害保険協会より化学消防自動車の寄贈を受け、南消防署に配備
12月	東洋工機株式会社より指令車の寄贈を受け、中消防署に配備
昭和54年 3月	日本自動車工業会より救急自動車の寄贈を受け、御嵩出張所に配備 航空自衛隊岐阜基地と航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定を締結
4月	消防職員126名 森山、西可児分遣所竣工開所 消防ポンプ自動車を配備
8月	本部庁舎用地購入
9月	本部庁舎起工式
12月	八百津出張所に救急自動車を更新配備 中濃消防組合と相互応援協定を締結
昭和55年 1月	南消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配備
2月	西可児分遣所に水槽付消防ポンプ自動車を更新配備
3月	本部庁舎竣工 二代目消防長 渡辺 休一 退職
4月	三代目消防長 溝口 智敏 就任

昭和55年 4月	消防職員 1 3 7 名
7月	本部庁舎竣工式並びに組合消防 1 0 周年記念行事開催 医療法人馨仁会藤掛病院より救急自動車の寄贈を受け、南消防署に配備
10月	日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、川辺出張所に配備 加茂地区危険物安全協会より軽トラックの寄贈を受け、中消防署に配備 中消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配備 本部に連絡車を配備
11月	森山分遣所に水槽付消防ポンプ自動車を更新配備
昭和56年 2月	南消防署に消防無線基地局を設置
3月	組合章及び組合旗制定
4月	加茂郡東部三町村（七宗町、白川町、東白川村）組合加入 構成市町村 1 1 となり 1 市 2 郡全域となる 消防職員 1 5 5 名
7月	三代目消防長 溝口 智敏 退職
8月	四代目消防長 渡辺 寅男 就任
10月	東消防署竣工開署 職員 1 3 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、広報車 1 台、救急自動車 1 台を配備 七宗出張所竣工開所 職員 9 名、水槽付消防ポンプ自動車 1 台を配備 益田地区広域町村圏事務組合と相互応援協定を締結
12月	日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、東消防署に配備 七宗出張所に救急自動車、軽トラックを配備
昭和57年 3月	消防無線基地局笹山中継所設置
4月	構成の可児町が可児市となり、2 市 8 町 1 村となる 消防職員 1 7 6 名
7月	可児地区危険物安全協会より防火査察車の寄贈を受け、南消防署に配備
10月	恵北消防組合と相互応援協定を締結 恵那市と相互応援協定を締結
11月	東白川分遣所竣工開所 救急自動車を配備 富加出張所に救急自動車を更新配備
12月	副管理者 林 桂 氏 の後任に 鈴木 告也 氏（可児市長）選任 川辺、八百津出張所に水槽付消防ポンプ自動車を更新配備
昭和58年 1月	土岐市と相互応援協定締結
2月	本部に救助工作車を配備
3月	東可児分遣所竣工開所 水槽付消防ポンプ自動車を配備 御嵩出張所庁舎増築竣工 御嵩出張所に水槽付消防ポンプ自動車を更新配備 本部に資機材搬送車を配備 各務原市と相互応援協定を締結

昭和58年 4月	消防職員 1 8 4 名
8月	南消防署に広報車を配備
9月	9. 2 8 災害… 9月 2 8 日夜台風 1 0 号崩れの豪雨により木曾川が氾濫、洪水が美濃加茂市太田町、可児市土田、坂祝町、八百津町、白川町の住宅地帯に浸水、床上浸水 2, 2 2 7 戸をはじめ、1, 8 7 3 世帯及び公共施設が被災した
	富加出張所に水槽付消防ポンプ自動車を更新配備
12月	本部に連絡車を更新配備
	日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、中消防署に配備
	岐阜県救急医療情報システム運用開始、医療機関案内のため本部に地域情報センターとして端末機を設置し、業務開始
昭和59年 3月	富加、川辺、八百津出張所車庫のひさし増設
	日本消防協会より指令車の寄贈を受け、本部に配備
4月	消防職員 1 8 2 名
6月	加茂地区危険物安全協会より査察車の寄贈を受け、中消防署に配備
10月	中消防署に水槽付消防ポンプ自動車を更新配備
11月	中消防署に化学消防自動車を更新配備
昭和60年 3月	本部に連絡車を配備
	御嵩出張所に軽トラックを配備
	四代目消防長 渡辺 寅男 退職
4月	五代目消防長 安田 守 就任
	消防職員 1 8 1 名
6月	美濃加茂市消防行政無線開局に伴い中消防署に災害緊急放送の端末機設置
8月	南消防署に救命用アルミボートを配備
	岐阜県総合防災訓練が八百津町で実施
9月	管理者 高橋 三郎 氏 の後任に 渡辺 博万 氏 (美濃加茂市長) 選任
10月	東白川分遣所にホース乾燥塔設置
11月	第 6 回岐阜県らっば競練会及び消防大会が美濃加茂市で開催
	東白川分遣所に消防ポンプ自動車 (ホースカー付) を配備
昭和61年 2月	本部、中消防署に岐阜県防災行政無線電話を設置 通話開始
3月	西可児分遣所車庫増築工事完成
4月	消防職員 1 8 2 名
	東消防署に救命用アルミボートを配備
7月	八百津出張所車庫増築工事完成
	八百津出張所に軽トラックを配備
12月	中消防署倉庫 (鉄骨平屋建 1 1 2. 5 m ²) 建築工事完成
昭和62年 3月	南消防署に救急自動車を更新配備
4月	消防職員 1 8 3 名
	可児市鳩吹山林野火災発生 (焼損面積約 9 0 ha)

昭和62年 8月	東消防署に広報車を更新配備
9月	富加出張所車庫増築工事完成 富加出張所に軽トラックを配備
10月	八百津出張所庁舎増改修工事完成
昭和63年 3月	南消防署庁舎竣工 管内消防相互応援協定締結 五代目消防長 安田 守 退職
4月	六代目消防長 福田 重弘 就任 消防職員 186名
6月	南消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備 川辺出張所に軽トラックを配備
8月	川辺出張所庁舎増改修工事完成
平成元年 4月	消防職員 189名
7月	御嵩出張所に救急自動車を更新配備
8月	岐阜県総合防災訓練が美濃加茂市ライン公園で実施 日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、八百津出張所に配備
9月	富加出張所庁舎増改修工事完成
10月	南消防署にはしご付消防自動車（30m級）を配備 南消防署に資機材搬送車を配備
平成 2年 4月	消防職員 192名 組合消防20周年記念号発刊
10月	東消防署に軽トラックを配備
12月	御嵩出張所庁舎増改修工事完成
平成 3年 2月	社団法人日本自動車工業会より救急自動車の寄贈を受け、南消防署に配備
3月	南消防署の救急自動車に自動車電話を取付 六代目消防長 福田 重弘 退職
4月	七代目消防長 木村 武 就任 消防職員 197名
7月	八百津出張所庁舎増改修工事完成
11月	本部予防課に査察車を更新配備
平成 4年 2月	中消防署の救急自動車に自動車電話を取付 日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、川辺出張所に更新配備
4月	消防職員 204名 本部に消防長車を更新配備
6月	東海建設株式会社よりステーションワゴン車の寄贈を受け、本部に配備 東海建設株式会社よりテント2張の寄贈を受け、中消防署・南消防署に配備
7月	南消防署に査察車を更新配備

平成 4年 9月	日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、七宗出張所に更新配備
10月	消防本部庁舎増改築及び外壁吹付け塗装工事完成
平成 5年 1月	南消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備
2月	富加出張所に救急自動車を更新配備
4月	消防職員 210名
5月	医療法人馨仁会藤掛病院より救急自動車の寄贈を受け、南消防署に更新配備
7月	本部予防課に査察車を更新配備 中消防署に査察車を更新配備 日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、本部予防課に配備
8月	南消防署に広報車を更新配備
9月	本部に救急研修センター開所
10月	管理者 渡辺 博万 氏 の後任に 川合 良樹 氏（美濃加茂市長）選任
12月	東消防署、森山分遣所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備
平成 6年 3月	岐阜県防災ヘリコプター応援協定を締結 七代目消防長 木村 武 退職
4月	八代目消防長 加藤 義明 就任 消防職員 214名 救急波無線開局
10月	水難救助隊発足 隊員 8名 森山分遣所に軽トラックを配備
12月	副管理者 鈴木 告也 氏 の後任に 山田 豊 氏（可児市長）選任
平成 7年 1月	中消防署仮眠室、待機室増改築工事 阪神淡路大震災に伴う岐阜県消防職員派遣隊派遣 1月17日から1月23日まで車両2台、隊員24名を兵庫県へ派遣し、救助活動、消火活動などの活動を実施
2月	南消防署に化学消防ポンプ自動車、七宗出張所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備
3月	中消防署、南消防署、東消防署に小型動力ポンプ軽四輪積載車を配備 消防本部に連絡車を更新配備
4月	消防職員 217名 南消防署に高規格救急自動車を配備 花フェスタ'95ぎふ開催に伴う会場内に消防詰所設置（4月26日～6月4日）
8月	西可児分遣所救急業務開始
10月	森山分遣所救急業務開始
12月	八百津出張所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備
平成 8年 2月	南消防署に小型動力ポンプ付水槽車を更新配備
3月	副管理者 荒井 正義 氏 の後任に 赤塚 新吾 氏（八百津町長）選任
4月	消防職員 222名

平成 8年 4月	東可児分遣所救急業務開始
9月	東消防署に救急自動車を更新配備 森山分遣所に救急自動車を更新配備
11月	消防本部通信指令室及び中消防署車庫増築工事完成
12月	中消防署、南消防署に耐震性貯水槽（60t）設置
平成 9年 1月	御嵩出張所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備
3月	中消防署に小型動力ポンプ付水槽車を更新配備 御嵩出張所に軽広報車を更新配備
4月	消防職員 222名 通信指令室を通信指令課に改称 消防緊急通信指令システム運用開始 中消防署署長室増改修工事
7月	加茂、可児医師会と災害医療救護活動協定を締結
10月	中消防署に高規格救急自動車を配備
12月	川辺出張所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備 南消防署に救助工作車（Ⅱ型）を配備
平成10年 3月	可児ライオンズクラブより消防啓発広告塔の寄贈を受け、南消防署に設置 八代目消防長 加藤 義明 退職
4月	九代目消防長 井上 貞夫 就任 組合規約改正（議員定数の変更） 可茂地域消防連絡協議会発足 消防職員 218名
6月	東消防署に指令車を配備 中消防署に資機材搬送車を更新配備
7月	中消防署、南消防署、東消防署にエアーテントを配備
8月	東消防署に救助隊発足 八百津出張所に軽広報車を更新配備
10月	岐阜県緊急消防援助隊訓練を「ふれあいパーク緑の丘」で実施 携帯電話等 119番通報受信業務運用開始
11月	全国消防長会東海支部役員会を開催
平成11年 2月	各出張所に簡易救助器具（パッケージルーカス）を配備
4月	消防職員 222名
6月	本部に救命ボートを配備
8月	富加出張所に軽広報車を更新配備
12月	東可児分遣所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備 西可児分遣所に救急自動車を更新配備
平成12年 4月	消防職員 223名
6月	自動車からの緊急通報受信業務開始

平成12年 6月	川辺出張所に軽広報車を更新配備 消防本部、中消防署空調設備改修工事完成
7月	組合消防発足30周年記念号発刊
11月	富加出張所に水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を更新配備 東消防署に高規格救急自動車を配備
平成13年 3月	九代目消防長 井上 貞夫 退職
4月	十代目消防長 渡辺 秀昭 就任 組合規約改正(煙火消費許可事務) 消防職員227名 可児市よりステーションワゴン車及び軽トラックの無償譲与を受け、南消防署に配備
7月	東消防署改修工事完成
8月	御嵩出張所に救急自動車を更新配備
12月	中消防署に水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を更新配備
平成14年 3月	十代目消防長 渡辺 秀昭 退職
4月	十一代目消防長 平岡 富弘 就任 消防職員227名 西可児分遣所を西可児分署に機構改革
8月	東消防署に資機材搬送車を配備
9月	西可児分署改修工事完成
11月	南消防署に軽トラックを更新配備
12月	八百津出張所に高規格救急自動車を配備 庁内LAN構築
平成15年 1月	中消防署に化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)を更新配備
2月	東白川分遣所に水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型)を更新配備 中消防署に救助工作車(Ⅱ型)を更新配備
3月	御嵩出張所増改築工事完成 十一代目消防長 平岡 富弘 退職
4月	十二代目消防長 大塚 森夫 就任 消防職員233名 御嵩出張所を御嵩分署に機構改革 KAMOnet運用開始
8月	西可児分署及び七宗出張所に軽広報車を配備
10月	東可児分遣所に救急自動車を更新配備
11月	中消防署仮眠室増築工事
12月	御嵩分署に高規格救急自動車を配備
平成16年 1月	可茂消防事務組合公式ホームページ運用開始
2月	中消防署にはしご付消防自動車(30m級)を配備
3月	東消防署に広報車を配備 八百津出張所建設用地購入

平成16年 3月	パジェロ製造より指令車の寄贈を受け、中消防署に更新配備 日本消防協会より指令車の寄贈を受け南消防署に更新配備
4月	消防職員 237名
6月	南消防署に査察車を更新配備
9月	七宗出張所に救急自動車を更新配備
12月	南消防署に高規格救急自動車を更新配備 八百津出張所移転新築工事完成
平成17年 2月	豊田市・瀬戸市・多治見市・土岐市・中濃消防組合と東海環状自動車道に伴う消防・ 救急業務応援協定を締結
3月	消防本部に消防長車を更新配備 東消防署増改築工事完成 十二代目消防長 大塚 森夫 退職
4月	十三代目消防長 渡辺 益巳 就任 消防職員 237名
5月	構成の兼山町が可児市となり、2市7町1村となる
9月	南消防署に広報車を更新配備 消防本部に指揮車を更新配備
10月	管理者 川合 良樹 氏の後任に 渡辺 直由 氏(美濃加茂市長)選任
12月	富加出張所に救急自動車を更新配備
平成18年 1月	川辺出張所に救急自動車を更新配備
3月	消防本部通信指令課 指令台リニューアル工事一式 (完成)
4月	消防職員 243名 岐阜県LPガス協会可茂支部と災害時におけるLPガスの供給に係る応援協定を締結 岐阜県石油商業組合可児支部・加茂支部と災害時における石油類燃料の供給に係る 応援協定を締結
12月	西可児分署に水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を更新配備
平成19年 1月	西可児分署に高規格救急自動車を配備
3月	消防本部・中消防署庁舎耐震補強工事 (完成) 消防本部に人員搬送車を更新配備
4月	消防職員 251名
6月	消防本部・中消防署に査察車を更新配備
10月	中消防署に高規格救急自動車を更新配備
平成20年 2月	南消防署に人員搬送車を更新配備
4月	消防職員 250名
平成21年 2月	消防本部に連絡車を更新配備 南消防署に査察車を更新配備
3月	南消防署はしご付消防自動車(30m級) オーバーホール

平成21年 3月	岐阜県内の高速道路等に伴う消防・救急業務応援協定を締結 木曽川右岸用水土地改良区連合と農業用水施設の緊急水利使用について協定を締結 十三代目消防長 渡辺 益巳 退職
4月	十四代目消防長 山口 隆功 就任 消防職員 249名 消防本部に救急課を設置
6月	東消防署に広報車を更新配備
10月	南消防署に資機材搬送車を更新配備
平成22年 3月	森山分遣所に高規格救急自動車を配備
4月	消防職員 251名
7月	7. 15豪雨災害…梅雨前線の影響で7月15日から16日にかけて管内各地で集中豪雨が発生。特に可児市、八百津町では洪水、土砂崩れにより死者4名、行方不明者2名の甚大な被害をもたらした。
11月	副管理者 山田 豊 氏の後任に 富田 成輝 氏（可児市長）選任 日本損害保険協会より高規格救急自動車の寄贈を受け、東白川分遣所に更新配備
12月	救急振興財団より救急普及啓発広報車の寄贈を受け、中消防署に配備 南消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備
2月	岐阜県ドクターヘリ業務応援協定を締結
平成23年 3月	消防本部通信指令課に高機能消防指令システムを更新配備 御嵩分署に軽広報車を更新配備 東日本大震災に伴う緊急消防援助隊派遣…3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震発生。緊急消防援助隊岐阜県隊として3月11日から4月1日まで車両5台、隊員31名を福島県へ派遣し、主に福島県相馬郡新地町にて救助活動、捜索活動、救急搬送などの支援活動を実施 十四代目消防長 山口 隆功 退職
4月	十五代目消防長 坂井 清 就任 消防職員 253名 中消防署はしご付消防自動車（30m級）オーバーホール
9月	台風15号による集中豪雨災害…台風15号により9月20日から21日にかけて管内各地で集中豪雨が発生。特に白川町、御嵩町では洪水、土砂崩れにより死者1名、行方不明者1名の甚大な被害をもたらした。
11月	森山分遣所及び東消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備 南消防署に高規格救急自動車を更新配備
平成24年 3月	川辺出張所建設用地購入
4月	消防職員 256名 消防本部の救急課を救急救助課に改称し、消防課の救助係を救急救助課へ移設
10月	東消防署に高規格救急自動車を更新配備
12月	東消防署に軽査察車を新規配備

平成25年 1月	南消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）、東消防署七宗出張所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新配備 川辺出張所移転新築工事完成（2月 業務開始）
3月	十五代目消防長 坂井 清 退職
4月	十六代目消防長 井藤 良三 就任 消防職員 255名 保安3法（「火薬類取締法」、「高圧ガス保安法」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」）に係る業務開始
7月	管理者 渡辺 直由 氏の後任に 藤井 浩人 氏(美濃加茂市長)選任
9月	八百津出張所に高規格救急自動車を更新配備
11月	南消防署に災害対応特殊屈折はしご付消防自動車新規配備
12月	日本消防協会及び生活協同組合全日本消防人共済会より広報活動車の寄贈を受け、八百津出張所に更新配備
平成26年 2月	南消防署に水槽車を更新配備
3月	八百津出張所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新配備 富加出張所建設用地購入及び土地交換契約の締結 消防・救急デジタル無線前進基地局新築工事完成（美佐野・笹山・上吉田・上佐見）
4月	消防職員 255名 消防救急デジタル無線運用開始
6月	中消防署に軽トラックを更新配備
9月	御嶽山噴火により死者57名、負傷者69名、行方不明者6名を出す戦後史上最悪の火山災害をもたらした。
10月	御嶽山噴火に伴い長野県知事の応援要請を受け緊急消防援助隊として職員2名派遣
11月	中消防署非常用高規格救急自動車を更新配備
平成27年 1月	御嵩分署水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型）を更新配備 中消防署救助訓練塔新築工事完成
2月	富加出張所移転新築工事完成・業務開始 南消防署に指揮支援車（Ⅳ型）を新規配備
3月	中消防署に水槽車を更新配備
4月	消防職員 256名 救急救命士処置拡大に伴う運用開始
5月	第97回全国消防長会財政委員会を開催
10月	御嵩分署及び東可児分遣所に高規格救急自動車を更新配備
11月	中消防署川辺出張所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備 消防本部に連絡車を新規配備 富加出張所に軽広報車を更新配備
平成28年 3月	中消防署に指揮支援車（Ⅳ型）を新規配備 十六代目消防長 井藤 良三 退職

平成28年 4月	十七代目消防長 八田 善明 就任 消防職員 260名
5月	伊勢志摩サミット特別警戒により隊員4名、情報員1名（水槽車含む）を派遣 消防救急アナログ無線運用終了
9月	南消防署及び七宗出張所に高規格救急自動車を更新配備
10月	川辺出張所に軽広報車を更新配備
12月	東消防署に指令車を更新配備
平成29年 2月	中消防署に資機材搬送車を更新配備
3月	消防本部に査察車を更新配備 高機能消防指令センター部分更新
4月	消防職員 260名 岐阜県広域消防相互応援協定を再締結（協定の見直し）
8月	西可児分署に軽広報車を更新配備
9月	七宗出張所に軽広報車を更新配備
12月	富加出張所及び川辺出張所に高規格救急自動車を更新配備
平成30年 3月	管理者 藤井 浩人 氏の後任に 伊藤 誠一 氏(美濃加茂市長)選任 南消防署に救助工作車（Ⅱ型）を更新配備 東可児分遣所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備
4月	消防職員 268名
10月	消防本部予防課に消防設備係を新設
12月	中消防署及び西可児分署に高規格救急自動車を更新配備
平成31年 2月	富加出張所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備 消防本部に人員輸送車を新規配備
3月	消防本部・中消防署及び南消防署に自家用給油取扱所を整備
4月	消防本部の救急救助課を救急課に改称し救助係を消防課へ、消防課の調査係を予防課へ移管 消防職員 275名
令和元年 6月	消防本部に連絡車を更新配備 日本郵便株式会社美濃加茂郵便局と熱中症予防広報の連携に関する協定を締結
令和2年 2月	西可児分署に広報車を更新配備 中消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備
3月	中消防署に消防組織法第50条の規定に基づき総務省消防庁から無償配備された拠点機能形成車を新規配備 森山分遣所に高規格救急自動車を更新配備 中央分署移転新築工事完成・業務開始 十七代目消防長 八田 善明 退職
令和2年 4月	十八代目消防長 福田 一成就任

令和2年	4月	消防職員275名 組合発足50周年 無人航空機（ドローン）運用開始 新型コロナウイルス感染症が感染拡大したため全国に緊急事態宣言。岐阜県にあつては4月16日から対象。
	6月	日本郵便株式会社可児郵便局と熱中症予防広報の連携に関する協定を締結 東白川分遣所油庫改修工事
	7月	Net119緊急通報システム運用開始
	9月	岐阜県中濃生コンクリート協同組合、株式会社カネサン、ライン生コン株式会社及び白川生コン協業組合と災害時における消防用水等の確保に関する協定を締結 株式会社ニューオーエスと浸水時における施設の一時使用に関する協定を締結 南消防署災害対応特殊屈折はしご付消防自動車オーバーホール
	10月	東可児分遣所油庫改修工事
	11月	東白川分遣所に高規格救急自動車を更新配備 中消防署に先端屈折梯子車（35m級）を更新配備
	12月	中消防署、富加出張所、川辺出張所及び八百津出張所にマンホールトイレを整備 南消防署庁舎改修工事
令和3年	2月	森山分遣所解体工事 八百津出張所に非常用発電機を設置
	3月	中消防署に非常用水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を配備 東白川分遣所に水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）を更新配備
	4月	消防職員278名 消防課の加茂郡消防協会事務局を総務課へ移管
	7月	7月3日静岡県熱海市で大規模な土石流事案が発生。緊急消防援助隊岐阜県大隊として7月20日から7月26日まで車両1台、隊員6名を派遣し、救助活動及び捜索活動を実施
	9月	可茂消防事務組合公式ツイッター開設
	10月	南消防署に高規格救急自動車を更新配備
	12月	御嵩分署に広報車を更新配備
令和4年	2月	美濃加茂市健康のまち一丁目、中部国際医療センターの敷地内に救急ワークステーション新築工事完成・業務開始
	3月	管理者 伊藤 誠一 氏の後任に 藤井 浩人 氏(美濃加茂市長)選任 消防本部に連絡車を更新配備 十八代目消防長 福田 一成 退職
	4月	十九代目消防長 丹羽 智博 就任 消防職員275名 無人航空機（ドローン）2機目運用開始
	9月	岐阜県立加茂高等学校と災害時等における施設使用の協力に関する協定を締結
令和5年	1月	東消防署に高規格救急自動車を更新配備
	3月	高機能消防指令センター部分更新

令和5年	4月	消防職員276名
	5月	5月8日から、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更
	7月	一般財団法人岐阜健康管理センターと浸水時等における施設の一時使用の協力に関する協定を締結
	8月	美濃加茂市、社会医療法人厚生会中部国際医療センター、一般社団法人加茂医師会、一般社団法人加茂歯科医師会、たんぼぼ薬局(株)中部国際医療センター店、可茂薬剤師会及び加茂警察署と災害時の応急医療活動に関する協定を締結
	10月	中消防署八百津出張所に高規格救急自動車を更新配備
令和6年	1月	1月1日に能登半島地震が発生。緊急消防援助隊岐阜県大隊として1月1日から1月10日まで車両6台、隊員72名を派遣し、救助活動及び捜索活動を実施
	4月	消防職員274名 ライブ映像119運用開始

令和5年度フォトアングル



4月 岐阜県消防学校
総合教育科入校式



5月 1 day インターンシップ



6月 東消防署急流救助訓練



7月 第51回消防救助技術
東海地区指導会



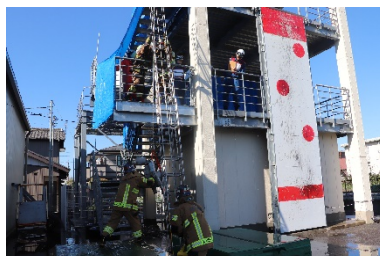
8月 親子消防教室



9月 機関運用訓練



10月 惨事ストレス研修



11月 警防競練会



12月 岐阜県広域訓練



1月 令和6年能登半島地震
緊急消防援助隊出動



2月 救急隊員技術発表会



3月 緊急介入救助訓練
RIT訓練

可茂消防事務組合の組織

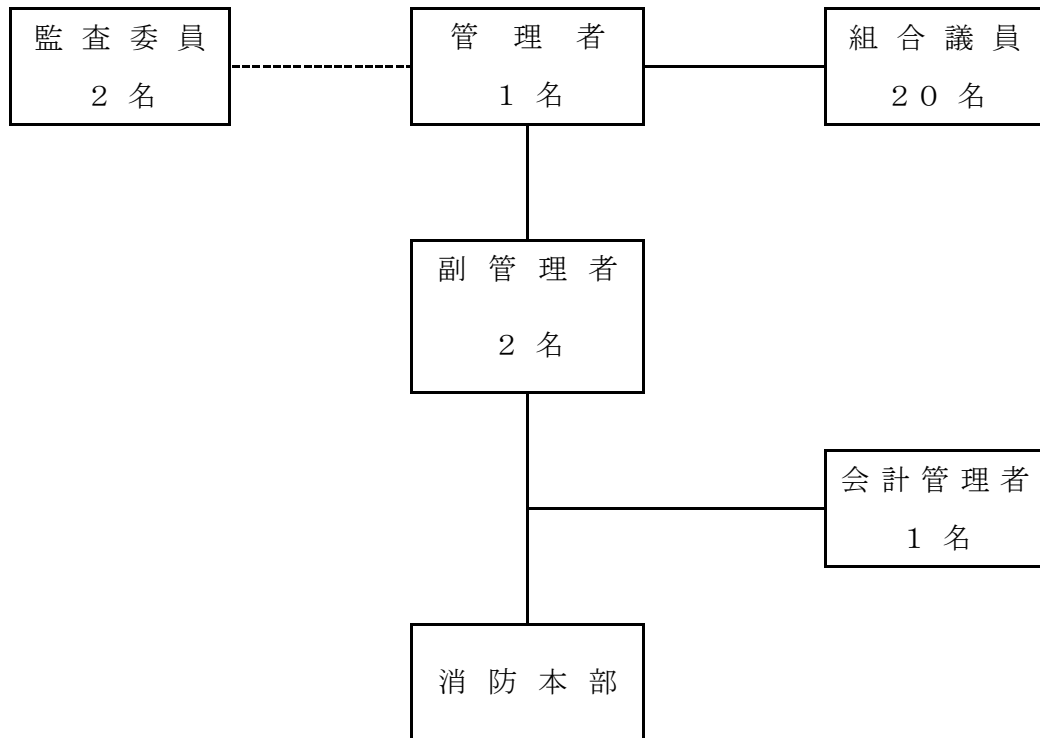
1. 構成市町村

美濃加茂市
富加町
八百津町
御嵩町

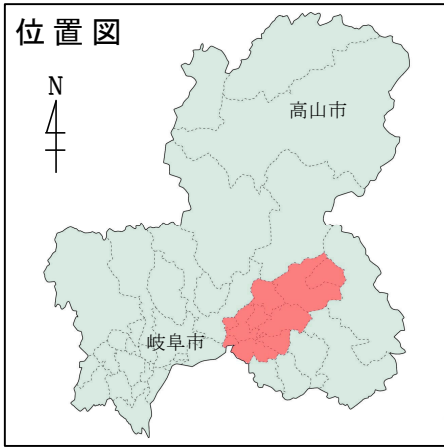
可児市
川辺町
白川町

坂祝町
七宗町
東白川村

2. 行政機構



可茂消防事務組合の概要



- 凡例
- ◎ 消防本部
 - ⊙ 消防署
 - ⊙ 分署・出張所・分遣所
 - ⊙ 救急ワークステーション

位置、状況

東 経	137度00分30秒
北 緯	35度26分07秒
東 西	33.44km
南 北	30.48km
面 積	834.17 k m ²

令和6年4月1日現在

区 分	所 在 地	建 物 構 造	建 築 面 積 (m ²)	延 べ 面 積 (m ²)	敷 地 面 積 (m ²)	建 築 年 月 日
消防本部・中消防署	美濃加茂市加茂川町3丁目7番7号	鉄筋コンクリート一部鉄骨造、3階建	986.56	2,739.06	5,231.23	S55.3.30
救急ワークステーション	美濃加茂市健康のまち1丁目5番地	鉄骨造、2階建	166.50	255.60	550.20	R4.1.26
中消防署中央分署	美濃加茂市下米田町今536番地1	鉄骨造、2階建	447.95	624.91	3,434.09	R2.2.27
中消防署富加出張所	加茂郡富加町滝田1480番地3	鉄骨造、2階建	371.30	497.85	1,504.00	H27.2.23
中消防署川辺出張所	加茂郡川辺町比久見770番地5	鉄骨造、2階建	365.80	492.00	1,514.51	H25.1.31
中消防署八百津出張所	加茂郡八百津町八百津3390番地8	鉄骨造、2階建	311.20	381.02	1,001.00	H16.12.21
南消防署	可児市下恵土5629番地1	鉄筋コンクリート、一部3階建	999.06	1,698.08	3,369.47	S63.2.29
南消防署東可児分遣所	可児市阜ヶ丘8丁目1番	鉄骨造、一部2階建	215.96	303.60	2,337.00	S58.2.25
南消防署西可児分署	可児市東帷子1683番地1	鉄骨造、一部2階建	322.00	397.80	841.38	S54.3.25
南消防署御嵩分署	可児郡御嵩町御嵩1231番地1	鉄筋コンクリート、2階建	194.01	279.01	802.34	S46.3.10
東消防署	加茂郡白川町河岐1873番地2	鉄骨造、一部2階建	445.88	520.59	997.99	S56.9.19
東消防署東白川分遣所	加茂郡東白川村神土635番地1	鉄骨造、一部2階建	170.64	208.72	603.66	S57.11.25
東消防署七宗出張所	加茂郡七宗町神淵2785番地	鉄骨造、一部2階建	198.43	263.15	615.23	S56.9.19
美佐野無線前進基地局	可児郡御嵩町美佐野5376番地	アルミ合金造	14.41	14.41	100.00	H26.3.7
笹山無線前進基地局	加茂郡白川町三川3773番地13	アルミ合金造	14.41	14.41	100.00	H26.3.7
上吉田無線前進基地局	加茂郡八百津町上吉田1389番地56	アルミ合金造	14.41	14.41	466.00	H26.3.7
上佐見無線前進基地局	加茂郡白川町上佐見1934番地1	アルミ合金造	14.41	14.41	100.00	H26.3.7

組合管内市町村の面積・人口・世帯数

令和6年4月1日現在

市町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口密度 (人/km ²)
美濃加茂市	74.81	57,357	24,193	766.70
可児市	87.57	99,826	44,286	1,139.96
坂祝町	12.87	8,188	3,485	636.21
富加町	16.82	5,880	2,180	349.58
川辺町	41.16	9,807	4,015	238.27
七宗町	90.47	3,244	1,412	35.86
八百津町	128.79	10,007	4,277	77.70
白川町	237.90	6,903	2,868	29.02
東白川村	87.09	2,057	820	23.62
御嵩町	56.69	17,606	7,635	310.57
合計	834.17	220,875	95,171	264.78

過去5年間の推移

区分 \ 年別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
人口 (人)	226,350	224,446	222,464	221,906	220,875
世帯数 (世帯)	92,459	92,819	92,651	94,291	95,171
人口密度 (人/km ²)	271.35	269.07	266.69	266.02	264.78

令和6年度一般会計予算（当初予算）

（歳入）

単位：千円

款	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較
1. 分担金	2,579,436	2,550,543	28,893
2. 使用料及び手数料	4,107	4,027	80
3. 国庫支出金	13,375	52,683	△ 39,308
4. 県支出金	0	3,500	△ 3,500
5. 財産収入	1,348	698	650
6. 繰入金	35,000	30,000	5,000
7. 繰越金	40,000	40,000	0
8. 諸収入	26,534	26,849	△ 315
9. 組合債	239,200	143,700	95,500
歳入合計	2,939,000	2,852,000	87,000

（歳出）

単位：千円

款	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	比較	令和6年度予算額財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国庫支出金	地方債	その他	
1. 議会費	152	199					152
2. 総務費	2,263,008	2,199,514				19,799	2,243,209
3. 消防費	514,199	492,568		13,375	239,200	2,799	258,825
4. 公債費	161,141	159,219					161,141
5. 予備費	500	500					500
歳出合計	2,939,000	2,852,000	87,000	13,375	239,200	22,598	2,663,827

一般会計予算の推移

